平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。
根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実
H30年度事業の概要	市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯である者に入学支度金を支給する。 （負担金、補助及び交付金） 大学　120,000円×4人 高等学校　60,000円×14人 専修学校　60,000円×2人 専門学校　120,000円×1人
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	修学困難な生徒に対し修学奨励費を支給することにより、市の教育環境づくりを推進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,560
H30予算額	1,560
H29当初予算額	1,500
H29現計予算額	1,500
増減額	60

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	960	1,440
従事職員数【人工】	0.03	0.03
人件費（人工×8,000千円）	240	240
総事業費：人件費含む（千円）	1,200	1,680
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	支給人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	13 単位 人	18 単位 人
単位当たりコスト　（円）	92,308	93,333

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(13)子ども達の就学の経済的支援

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不登校児童生徒支援事業「適応指導教室（はばたき）」

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

事業の目的

宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。

根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

大宇陀地域事務所内の1室にて、教室を運営。
週2日（水・金、学校の長期休業中は休み）開室しており、児童生徒は、水曜日と金曜日通室している。指導員は、心理士2名で、相談業務も行っている。

科目		予算額	備考
賃金	心理職賃金	5,848千円	臨床心理士2,620円／h　週3日
		711千円	交通費
	心理職会議賃金	126千円	すまいるネットワーク会議
需用費	消耗品費	30千円	消耗品
合計		6,715千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成28年度の正式通室者が2名で、開室日数74日、通室日数は35日。通室延べ回数が38回であった。1名は卒室し希望の高校に進学し、1名は現在も通室している。平成29年度は、正式入室2名、仮入室1名となっている。
今後は学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,715
H30予算額	6,715
H29 当初予算額	6,688
H29 現計予算額	6,688
増減額	27

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	4,045	5,488
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	5,645	7,088

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	相談回数・通室回数・学校訪問					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	123	単位	回	146	単位	回
単位当たりコスト　（円）	45,894			48,548		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	グローバル教育推進事業（サイエンスラボ・JAXA学校教育支援）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

事業の目的

幼児、児童、生徒が科学（化学）への興味関心を高め、自然の事物・現象等についての理解を図り科学（化学）的な見方や考え方を養う事を通して、学力向上に資する事を目的とする。

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

科目		予算額	備考
需用費	消耗品	30千円	JAXA・サイエンス　2回
負担金	講師派遣負担金	186千円	JAXA　48,560円×3回 ｻｲｴﾝｽ　2,000円×10人×2回
合計		216千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

奈良県立青翔中学校・高等学校の科学部員による実験の実施やJAXA学校支援事業による小学校、こども園等へ要望に応じた宇宙に関する学習等を実施し、これらの事業を通して、宇陀市内の幼児、児童・生徒の科学や宇宙についての興味・関心を高めることができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	216
H30予算額	216
H29 当初予算額	315
H29 現計予算額	315
増減額	▲ 99

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	198	315
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	598	715
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	実施回数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	6 単位 回	4 単位 回
単位当たりコスト　（円）	99,667	178,750

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	グローバル教育推進事業（英語スピーチコンテスト）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

事業の目的

宇陀市内各学校で行われている外国語活動や英語学習の成果を発表し交流することを通して、更に興味を持って取り組もうとする国際性豊かな児童・生徒を育成することを目的とする。

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

第6回宇陀市英語スピーチコンテスト（小中高英語活動発表会）を実施する。

科目		予算額	備考
報償費	記念品	72千円	トロフィー、参加賞
需用費	消耗品費	10千円	賞状用紙他
負担金	職員研修負担金	6千円	旅費負担金
合計		88千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成29年度で5回目を迎え、参加者も増えてきている。
中学生・高校生によるスピーチは教科書等からの題材を暗唱したり自作のスピーチを使い発表。グループでのスキットもそれぞれが工夫を凝らし楽しいものを作り上げていた。小学生も日頃の授業で作成した写真や絵を使い、ジェスチャーに表すなど工夫された発表を行っている。ほとんどの生徒が「とても楽しかった。また参加したい」と感じており、これからの社会は英語が必要等の理由で強く継続を望む保護者も多く、小中学校での英語学習の成果を交流することで更に興味を持ち、小学校の外国語教科必修への学習意欲に繋がることを期待している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	88
H30予算額	88
H29 当初予算額	88
H29 現計予算額	88
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	55	88
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	455	488
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	参加人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	44 単位 人	42 単位 人
単位当たりコスト　（円）	10,341	11,619

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	スクールカウンセラー設置事業（児童・生徒のカウンセリング）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	6	スクールカウンセラー設置事業（インセンティブ事業）

事業の目的

市立小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置し、いじめ、不登校等の未然防止・解決を図ると共に、児童生徒の問題行動に的確に対応することを目的とする。児童生徒、保護者の心の相談にあたるとともに、教職員のカウンセリングマインドを高め、問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決に役立てる。

根拠条例等	宇陀市スクールカウンセラー設置要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

市立小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置

科目		予算額	備考
賃金	臨時職員賃金	3,211千円	スクールカウンセラー賃金
		241千円	スクールカウンセラー交通費
需用費	消耗品費	150千円	発達検査用紙他
合計		3,602千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

県費スクールカウンセラーを配置していない小学校6校に、週3回派遣しているが、必要に応じて要望があれば中学校にも派遣しており、需要が大きい。
適応指導教室はばたきや通級指導教室ほほえみ及び教育相談の相談員、指導主事及び事務員が集まり、毎月情報交換を行い、共通理解し連携が図れた。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	3,602
H30予算額	3,602
H29当初予算額	3,311
H29現計予算額	3,311
増減額	291

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,104	3,311
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	3,904	4,111
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	派遣日数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	128 単位 日	116 単位 日
単位当たりコスト　（円）	30,500	35,440

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原西小学校便所改修事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁小学校管理費

事業の目的

児童用便所の老朽化に伴い改修が必要となっているため改修を行い教育環境の改善を図る。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

児童用便所で匂いがこもり、また老朽化も進んでいるため改修し併せて多目的便所を設置する。

科　目	予算額
委託料	4,500千円
工事管理費	50,000千円
事務費	662千円
合　計	55,162千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

児童用便所の便所改修工事を行うことで教育環境の改善を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	53,000
その他	
一般財源	2,162
H30予算額	55,162
H29 当初予算額	4,000
H29 現計予算額	4,000
増減額	51,162

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		3,063
従事職員数【人工】		0.20
人件費（人工×8,000千円）		1,600
総事業費：人件費含む（千円）		4,663
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	児童数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	88 単位 人
単位当たりコスト　（円）		52,989

特定財源の状況

合併特例債　53,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(23)榛原西小学校便所改修事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	言語力育成支援事業「通級指導教室”ほほえみ”」

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
細目	12	通級指導教室費

事業の目的

①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、社会性に困難さを抱えている子どもに応じた教育課程のもと支援を行う。
②ことばやコミュニケーション、社会性に困難さを抱えている児童に、適切で専門的な指導（保護者や教職員に対しても）を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、生き生きとして社会生活を送れるように支援する。

根拠条例等	学校教育法施行規則第140条、宇陀市通級指導教室設置要領
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

科目		予算額	備考
賃金	非常勤講師賃金	2,571千円	2,460円×23.75時間×4週×11ヶ月
		440千円	交通費
旅費	普通旅費	10千円	巡回指導旅費
需用費	消耗品	167千円	検査用紙他
	燃料費	16千円	ほほえみ教室灯油代
	修繕料	60千円	通級指導教室修理費用
役務費	通信運搬費	84千円	電話ネット通信料金
備品購入費	学校管理備品費	280千円	ほほえみ教室備品代
負担金	各研究会負担金	11千円	研究会費他
合計		3,639千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

保護者や教職員から宇陀市に教室があって良かった。指導内容も子どもに合っており子どもが成長したとの声がある。小学校教諭もアドバイスを受けることで、より適切な指導が可能となり教室でも成長を感じているとの声がある。年々通級児童が増加し、指導時数が増え、また他校通級は放課後に集中し、曜日の希望も重なっているので指導時間の確保が難しい。平成27年度からは幼児の教育相談・指導を打ち切り、小学生の指導を優先している。
今後は、対象児童の教室に出向き観察することで教職員へのアドバイスや情報共有ができるので、このまま継続して運営を行い、さまざまなニーズの子どもたちへの教育支援を保障していきたい。

財源の内訳 （単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	3,639
H30予算額	3,639
H29当初予算額	3,690
H29現計予算額	3,690
増減額	▲ 51

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,052	3,390
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,852	4,190
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	相談回数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	954 単位 回	950 単位 回
単位当たりコスト （円）	2,990	4,411

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業（小学校）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費

事業の目的

経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

経済的理由によって就学が困難な生徒の解消

項　目	予算額	備　考
特別支援教育就学奨励費	1,719千円	給食費・校外学習費・学用品費等
要保護児童就学援助費	33千円	修学旅行費等
準要保護児童就学援助費	7,023千円	給食費・校外学習費・学用品費等
被災児童生徒就学援助費	95千円	給食費・校外学習費・学用品費等
合　計	8,870千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

就学援助費を支給することによって、経済的負担を軽減し、児童の就学を支援し、安心で豊かな教育環境を整備する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	703
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,167
H30予算額	8,870
H29当初予算額	8,473
H29現計予算額	8,473
増減額	397

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	8,215	8,473
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	9,015	9,273

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	支給人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	153	単位	人	144	単位	人
単位当たりコスト　（円）	58,922			64,396		

特定財源の状況

特別支援教育就学奨励費補助金　601千円
要保護児童援助費補助金　7千円
被災児童生徒就学等支援事業補助金　95千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(13)子ども達の就学の経済的支援

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原東小学校渡廊下耐震化事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	3	耐震化事業費
細目	1	耐震化事業費

事業の目的

榛原東小学校渡廊下2棟の耐震診断の結果、耐震性がないことが判明したため、耐震改修工事を行い学校施設の安全性を確保する。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

耐震改修工事の実施。

科　目	予算額
委託料	1,350千円
工事管理費	15,000千円
公課費	424千円
合　計	16,774千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

避難所に指定されている榛原東小学校の渡廊下の耐震改修を行い、学校の安全対策を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,666
県　費	
市　債	12,900
その他	
一般財源	1,208
H30予算額	16,774
H29 当初予算額	4,051
H29 現計予算額	4,051
増減額	12,723

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		3,251
従事職員数【人工】		0.20
人件費（人工×8,000千円）		1,600
総事業費：人件費含む（千円）		4,851

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	児童数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		241	単位	人
単位当たりコスト　（円）				20,129		

特定財源の状況

住宅建築物耐震改修等事業補助金　2,666千円
合併特例債　12,900千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(24)榛原東小学校渡廊下耐震化事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	部活動指導員配置促進事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁中学校管理費

事業の目的

経験のない競技への指導による心理的負担を軽減させ、専門の指導員の指導により部活動の資質向上を図る。
また、指導員の配置により、教材研究や生徒との面談の時間が確保できる等、教職員の働き方改革にもつながる。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

各中学校へ部活動指導員の配置
部活動指導員謝礼　1,018千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

部活動の質的向上
・正しい理解に基づく技術の向上
・生徒の能力に応じた適切な練習方法の導入
・想定される事故・けがの未然防止
教員の働き方改革
・部活動指導にかかる時間を軽減し教材研究や生徒との面談等の時間確保
・経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	339
県　費	339
市　債	
その他	
一般財源	340
H30予算額	1,018
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	1,018

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

部活動指導員配置促進事業補助金
（国） 339千円
（県） 339千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(22)部活動指導員配置事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業（中学校）

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁中学校教育振興費

事業の目的

経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要

経済的理由によって就学が困難な生徒の解消

項　目	予算額	備　考
特別支援教育就学奨励費	990千円	給食費・校外学習費・学用品費等
要保護生徒就学援助費	68千円	修学旅行費等
準要保護生徒就学援助費	7,756千円	給食費・校外学習費・学用品費等
被災児童生徒就学援助費	149千円	給食費・校外学習費・学用品費等
合　計	8,963千円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

就学援助費を支給することによって、経済的負担を軽減し、生徒の就学を支援し、安心で豊かな教育環境を整備する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	514
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,449
H30予算額	8,963
H29 当初予算額	8,608
H29 現計予算額	8,608
増減額	355

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,702	8,608
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	8,502	9,408

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	支給人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	88	単位	人	84	単位	人
単位当たりコスト　（円）	96,614			112,000		

特定財源の状況

特別支援教育就学奨励費補助金　346千円
要保護生徒援助費補助金　19千円
被災児童生徒就学等支援事業補助金　149千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(13)子ども達の就学の経済的支援

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国青年招致事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	市内4中学校にALTを配置し、英語教育の普及を図り、国際的視野を高める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	3	外国青年招致事業費
細目	1	外国青年招致事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H30年度事業の概要	財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国人青年招致事業（JETプログラム）」から派遣されたALT（2人）を市内4中学校に配置する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	授業でネイティブスピーカーを活用することにより、外国語教育が充実している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,591
H30予算額	8,591
H29当初予算額	8,640
H29現計予算額	8,640
増減額	▲ 49

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,945	8,640
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	9,545	10,240
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	配置人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	2 単位 人	2 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,772,500	5,120,000

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	指定文化財保存修理等助成事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

事業の目的

市内全域の国・県市指定文化財の保護事業として行う保存修理、設備点検環境整備事業等を実施した団体に補助金の交付を行い指定文化財の保護を図る。

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

指定文化財所有者の防災設備点検、環境整備、保存修理、防災設備、収蔵庫建設の経費軽減を図る。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

〇文化財補助金
指定文化財の管理、修理、復旧、公開、調査、その他文化財の保存及び防犯上緊急の措置を講じる為の経費(国費・県費を控除した額)を補助し、歴史的価値の高い指定文化財施設の保護を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	8,400
その他	
一般財源	215
H30予算額	8,615
H29 当初予算額	7,521
H29 現計予算額	7,521
増減額	1,094

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,830	6,324
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	5,430	7,924

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	補助文化財数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	15	単位	件	17	単位	件
単位当たりコスト　（円）	362,000			466,118		

特定財源の状況

過疎対策事業債　8,400千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	民俗文化財伝承事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

事業の目的	県・市指定文化財の伝承活動に対して、補助金の交付を行う。
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用
H30年度事業の概要	各地域の歴史、風土の中で育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存又は後継者育成を担っている団体に、活動補助金を交付する。 補助金　180千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	文化財愛護団体への活動補助金により伝承事業が継続されている。 ・市指定文化財 「大野のいさめ踊り」 「田口水分神社の獅子舞」 ・県指定文化財 「野依のオンダ」 「平尾のオンダ」 「室生の獅子神楽」 「龍口の獅子舞」

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	180
H30予算額	180
H29 当初予算額	180
H29 現計予算額	180
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	120	180
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	920	980
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	補助団体数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	4 単位 件	6 単位 件
単位当たりコスト　（円）	230,000	163,333

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定天然記念物　向淵スズラン群落再生事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費

事業の目的

室生向淵にあるスズランの自生群落は、自生の南限地として国の天然記念物に指定されている。
当該天然記念物保存管理計画に基づき管理目標を定めて観察と管理を行うとともに、一般来訪者に公開し豊かな自然を体験してもらう。

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

向淵スズラン群落再生事業指導委員会の指導の下に、文化庁文化財調査官の現地指導、スズラン現状調査、増殖試験等の事業を実施する。

（千円）

報償費	14
旅費	34
委託料	454
合計	502

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

国指定の天然記念物向淵スズラン群落の管理を行い、指定理由である自生の南限としての価値を維持すると共に、一般に広く公開することにより市の活性化に資することを目標とする。
天然記念物に指定された当時（昭和5年）には約3万㎡の指定地に、密生した場所でも1㎡あたり平均45株しかなかった。
平成8・9年度の減少原因調査では、指定地内での生育量が約5,500株であることが明らかとなった。
平成21年度からはスズラン群落の状況調査等を継続して実施しており、平成28年調査では、「タヌキヤブ地区」で260㎡の中に約43，000株が生育し、生育密度は「オクシバ」地区で29㎡の中に約510株なっている。
このように個体数及び密度は増加傾向にあるものの、外来種である「ドイツスズラン」の混在が確認された場合は、その都度、除去し、固有種の確保を行っている。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	502
H30予算額	502
H29 当初予算額	2,240
H29 現計予算額	2,240
増減額	▲ 1,738

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	446	2,029
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,246	2,829

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	現年自生株数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	43,510	単位	株	44,000	単位	株
単位当たりコスト　（円）	29			64		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市内にもオオサンショウウオが棲息しており、現在までのところ、室生ダムより下流の宇陀川、室生川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川などで棲息が確認されている。
平成24年度からは、三重県教育委員会・奈良県教育委員会が策定した「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針」に基づき、保護調査を実施している。オオサンショウウオの状況を記録した台帳を作成し、マイクロチップを挿入、DNA鑑定後、日本産であれば、再び元の河川に放流し、固有種の存続に努める。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

オオサンショウウオの棲息が確認されている室生ダムより下流の宇陀川、室生川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川を中心として計画的に保護調査（分布調査・生息生育調査）を実施する。
DNA鑑定後、日本産であれば、再び元の河川に放流し、中国産・雑種である場合は、一時保護を行い、河川には放流しないこととする。

（千円）

報償費	48
旅費	63
需用費	40
役務費	2
委託料	1,941
使用料・賃借料	6
負担金・補助金	9
合計	2,109

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市内の特別天然記念物オオサンショウウオ（日本産）の保護を行うともに、各調査個体の基礎資料の蓄積を図り、市民等に市内の河川に特別天然記念物オオサンショウウオ（日本産）が棲息することを周知し、保護活動を市民レベルとなるよう誘導する。
計画的に保護調査を実施することにより、宇陀市内のオオサンショウウオの棲息状況が明らかとなり、中国産・雑種のオオサンショウウオを別施設で一時保護するとともに、日本産のオオサンショウウオの保護対策を講じる資料を収集できる。
宇陀市内では、これまでに約250個体のオオサンショウウオのDNA鑑定し、うち12個体の雑種が確認されている。今後の調査により、さらにその個体数は増加するものと思われる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	1,000
県　費	300
市　債	
その他	
一般財源	809
H30予算額	2,109
H29 当初予算額	2,110
H29 現計予算額	2,110
増減額	▲ 1

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,048	2,110
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,848	2,910

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	保護捕獲個体数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	60	単位	個体	60	単位	個体
単位当たりコスト　（円）	47,467			48,500		

特定財源の状況

天然記念物調査再生事業費補助金
（国）1,000千円
（県） 300千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定天然記念物カザグルマ自生地再生事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費

事業の目的

大宇陀小附所在の「カザグルマ自生地」は、自生地の北限として、貴重である。平成28年度に生育環境の整備を図り、カザグルマ個体群の調査を実施した。事業を継続して行い、個体群の保護に努める。
なお、当該天然記念物は、管理目標を定めて観察と管理を行うとともに、一般来訪者に公開し豊かな自然を体験してもらう。

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

カザグルマの生育環境の維持に努めるとともに、個体群のモニタリング調査を実施し、個体管理を行う。
現地調査委託料　141千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

カザグルマのモニタリング調査は、継続して行っており、今後も各個体が生育するよう周辺環境を改善し、個体数の回復と増殖を図り、安定した植生管理を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	141
H30予算額	141
H29 当初予算額	200
H29 現計予算額	200
増減額	▲ 59

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,977	200
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,777	1,000
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	現年自生株数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	35 単位 株	50 単位 株
単位当たりコスト　（円）	79,343	20,000

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費

事業の目的

宇陀市松山重伝建地区の歴史的町並みの特性を回復、維持するため、重伝建審議会においてその方策を検討し、伝建地区内の重要な構成要素である伝統的建造物（伝建物）の「修理」、及びそれ以外の建造物（非伝建物）の「修景」に対して補助金の交付を行って、修理と修景を共に推進することにより、町並みの価値を維持し、高めることを目的とし、併せて地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備を行い、これらをもって市民が誇りと愛着をもったまちづくりの実行に資することを目的とする。

根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

平成30年度においては、「修理」に対する補助（9件）を実施する。

（千円）

報酬	56
旅費	184
需用費	153
役務費	12
使用料・賃借料	19
負担金・補助金	35,676
合計	36,100

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）は、奈良県下の3ヶ所のうちの一つであり、昭和戦前に建築された建築物が数多く残り、「商家町」として貴重な歴史的景観を形成している。

この歴史的景観を後世に引き継ぐとともに、宇陀松山城跡と伝建地区を一体的に捉えて整備することにより、当該地域のみならず宇陀市の活性化に資することを目的とする。

建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、修理相談件数も年々増加している状況にある。

また、先進地研修やまちづくり講座等を開催して住民への啓発活動を行っているため、本事業に対する住民の理解は高い。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	23,320
県　費	3,587
市　債	
その他	
一般財源	9,193
H30予算額	36,100
H29 当初予算額	32,665
H29 現計予算額	32,665
増減額	3,435

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	22,539	30,165
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	30,539	38,165

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	補助件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	6	単位	件	9	単位	件
単位当たりコスト　（円）	5,089,833			4,240,556		

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金　（国）23,320千円
（県） 3,587千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀福祉会館改修事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費

事業の目的

大宇陀福祉会館は、明治36年に松山町役場として創建され、その後いくつか用途が変わり、現在は地域の集会所として活用されている。建物は木造一部2階建、片側入母屋造、桟瓦葺きである。川に面する部分は下見板張り、道路側は腰板張りで、外観は和風の素材を使っているが、内部構造はキングポストトラスを採用しており、奈良独特の近代建築の特色を持った建築物である。創建から110年が経過し雨漏り、不同沈下による床の傾き、壁の剥落や亀裂が進行しており、大規模な改修時期に来ている。建物や周辺整備を行い、公開活用を前提とした改修工事を行い、松山地区の地域づくりの拠点施設として活用する。

根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

福祉会館耐震改修工事を、平成30年度及び平成31年度の2カ年で整備を行う。

（千円）

委託料	3,277
工事請負費	49,740
合計	53,017

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

地域住民と来訪者の便宜施設のみならず、松山地区の地域づくりの拠点として位置づけ、地域の文化活動及びまちづくり活動に貢献する施設とする。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	30,480
県　費	4,689
市　債	16,900
その他	
一般財源	948
H30予算額	53,017
H29 当初予算額	12,000
H29 現計予算額	12,000
増減額	41,017

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		9,510
従事職員数【人工】		0.50
人件費（人工×8,000千円）		4,000
総事業費：人件費含む（千円）		13,510
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金　（国）30,480千円
（県）4,689千円
合併特例債　16,900千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(1)にぎわいづくり創造事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡宇陀松山城跡保存整備事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

平成30年度事業
宇陀松山城跡維持管理業務（草刈り等）及び宇陀松山城全体を3DCGによる復元を実施する。

（千円）

報償費	30
役務費	42
委託料	2,378
使用料・賃借料	23
合計	2,473

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。
平成18年7月に国史跡指定を受た面積は67,667㎡と広大であり、そのうち総石垣つくりの約22,450㎡の公有化を実施している。
整備範囲は公有地化を行った範囲を中心に、城跡への登城道部分を対象としている。
平成29年に史跡宇陀松山城跡は「続日本100名城」に選定されたが、台風21号の豪雨により城跡の法面が大きく崩落したため、今後は災害復旧事業を優先し進めていく。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,305
一般財源	1,168
H30予算額	2,473
H29 当初予算額	33,177
H29 現計予算額	33,177
増減額	▲ 30,704

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,246	3,213
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	8,846	4,813

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備率					
活動指標の算式	単年度整備事業/全体整備事業					
活動指標の実績(見込)	0.1	単位	%	0.1	単位	%
単位当たりコスト　（円）	88,460,000			48,130,000		

特定財源の状況

ふるさと応援基金繰入金　1,305千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡森野旧薬園保護事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

寛保3年(1743年)、幕府から官園において栽培していた貴重な種苗を下付され、これを植えたことによって、薬園がはじまる。大正15年には、国史跡に指定され、史跡地内には、桃岳庵や石水亭などの建造物も遺存し、薬園としての旧態が良く保たれている。しかし、近年は、周辺部において杉や竹などが繁茂し、環境の悪化が進んでおり、建造物の傷みも著しい。また、薬草畑の一部では、管理が行き届かない場所も認められ、荒廃が進行しつつあるため、当園の適切な保存・管理を行うため、保存活用計画書に沿った保護事業を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	26	史跡森野旧薬園整備事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史・文化資源の保全と活用

H30年度事業の概要

史跡森野旧薬園保存活用計画書により、保存する事となった史跡地内の桃岳庵の修理保存工事を実施する。
また、同史跡地内の、賽郭祠堂の現況調査及び改修工事設計業務を実施する。

（千円）

報償費	57
旅費	53
需用費	5
委託料	4,287
工事請負費	30,000
合計	34,402

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

国史跡森野旧薬園の保全と活用を図るため、国史跡森野旧薬園の保存活用計画を策定したことにより、適正な保存整備・活用事業を行うことが出来ることとなった。
保存整備事業を計画的に実施し史跡の保全と活用を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	17,200
県　費	10,320
市　債	
その他	4,586
一般財源	2,296
H30予算額	34,402
H29 当初予算額	3,807
H29 現計予算額	3,807
増減額	30,595

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	102	5,398
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	902	6,198

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備計画進捗率					
活動指標の算式	実施保存事業／全体保存管理事業					
活動指標の実績(見込)	0.1	単位	%	5	単位	%
単位当たりコスト　（円）	9,020,000			1,239,600		

特定財源の状況

史跡森野旧薬園保存整備事業費
補助金　（国）　17,200千円
　　（県）　10,320千円
雑入　　4,586千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用]
(5)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金事業

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	宇陀の豊かな自然の中で、参加者の健康維持・増進を目指し、参加者相互の親睦と交流を深めると共に、市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
細目	1	本庁保健体育総務費

根拠条例等	宇陀市社会体育振興事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第4章　第5節　スポーツ・レクリエーションの充実

H30年度事業の概要	実行委員会補助金　1,600千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	参加選手やボランティアスタッフ（約450名）が、「走ろう宇陀！ふれあう心」をスローガンに、本大会を通じて、互いの親睦を図り、市の一体感を醸成していくと共に、市外また全国より多数の参加選手を迎え、市総合計画「まちづくり基本方針」において掲げられている「交流人口の増加」にも貢献していくことを目標とする。さらにウェルネスシティ宇陀市の実現を目指すことも目標とする。 宇陀シティマラソン第10回記念大会（H28年度） 3月12日（日）開催 参加申込者数（定員1,500人）　1,829名 （宇陀市民572名・市外1,257名） 宇陀市特産品販売 市郡内温泉のPR（手湯・施設利用割引券） 市内観光パンフレットの配布 元気汁（豚汁）の無料ふるまい 榛原中学校マーチング

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,600
H30予算額	1,600
H29当初予算額	1,600
H29現計予算額	1,600
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,300	1,600
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	10,300	9,600

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	参加者数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績(見込)	1,829	単位	人	1,700	単位	人
単位当たりコスト　（円）	5,631			5,647		

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (5)大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大人のための運動教室等充実事業

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
細目	4	ウェルネスシティ推進費

事業の目的

運動を始めたいと思ってる人、または運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に開催することで運動の習慣化へとつなげていく。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくり推進

H30年度事業の概要

宇陀市民の40歳から69歳以下の男女を対象とした運動教室の実施

（千円）

講師謝礼	2,256
消耗品費	104
計	2,360

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

運動教室を定期的に開催することで運動の習慣化へとつなげていく。
○リラックスヨガ
○エアロビクス
○ピラティス
○健康エクササイズ
○アクアエクササイズ
○膝・腰機能改善ウォーキング

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	2,388
一般財源	▲ 28
H30予算額	2,360
H29 当初予算額	2,072
H29 現計予算額	2,072
増減額	288

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,618	2,072
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	2,418	2,872

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	延参加者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	2,367	単位	人	3,029	単位	人
単位当たりコスト　（円）	1,022			948		

特定財源の状況

雑入　2,388千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(1)“ウェルネスシティ”推進事業